

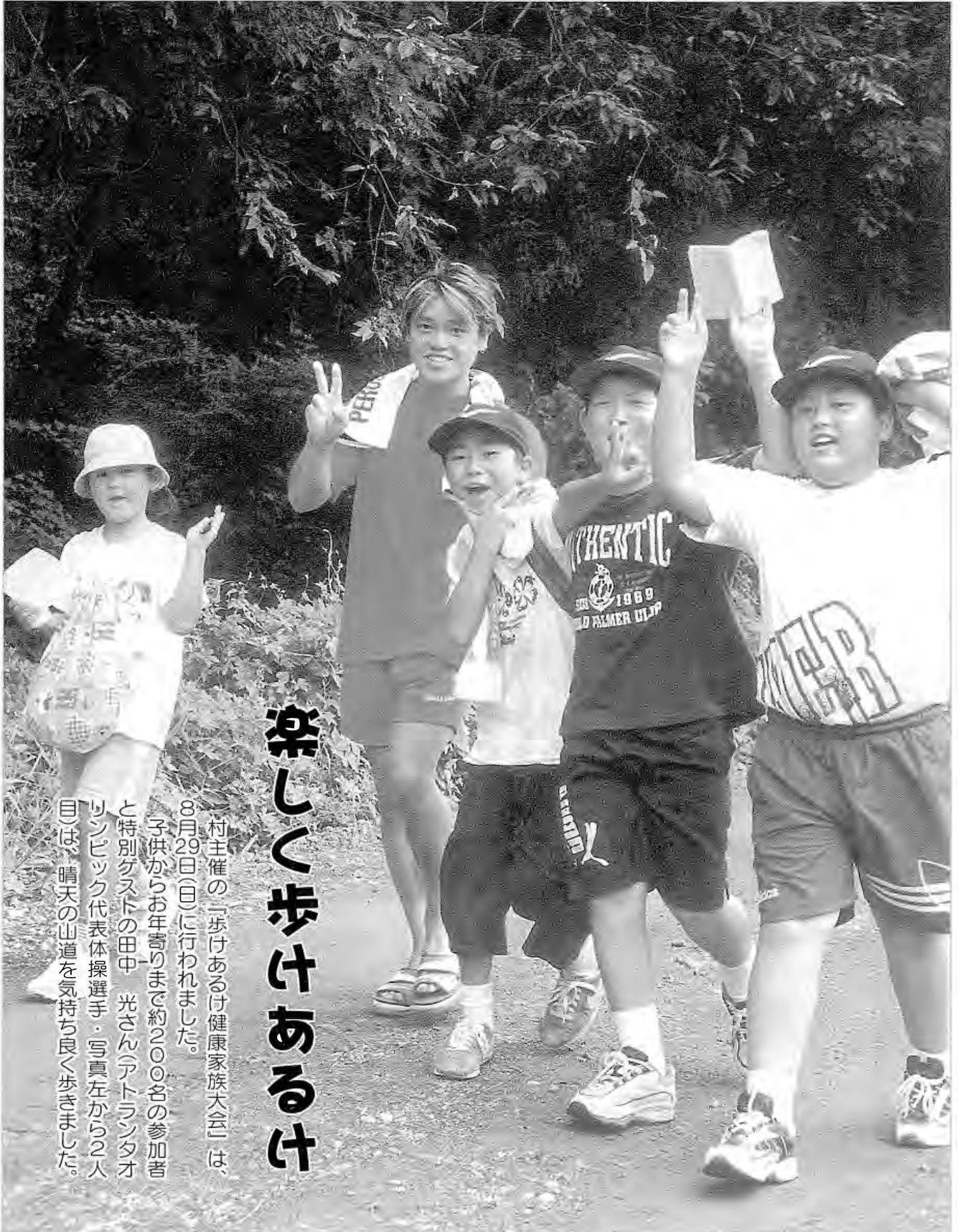
たまかわ

1999

9

No.397

空と緑“新”呼吸する——広報TAMAKAWA



楽しく歩けするけ

村主催の二歩けあるけ健康家族大会は、
8月29日(日)に行われました。
子供からお年寄りまで約200名の参加者
と特別ゲストの田中 光さん(アトラクタオ
リンピック代表体操選手・写真左から2人
目)は、晴天の山道を気持ち良く歩きました。



試合前の記念写真

サッカー交流は、鳳凰國小サッカー部との練習試合が行われました。あいにくの小雨模様の中での試合となりましたが、旅の疲れを見せず伸びびとプレーを楽しみました。

「サッカー交流」は、鳳凰國小小学校で行われました。鳳凰國小は、一昨年の3月に須釜小学校四辻分校の児童が訪問した際に、一輪車での交流をした小学校です。その後、一輪車乗りの技術はメキメキ上達しており、サッカー交流の前に一輪車乗りが披露されました。

鳳凰國民小と 交流試合

訪問団一行は、翌20日朝にバスで鹿谷郷に到着しました。鹿谷公所で歓迎式に臨み、陳錫梧郷長から歓迎のあいさつ、車田村長から御礼のあいさつがそれぞれ行われました。歓迎式のあと、郷内をバスで見学して、鹿谷郷のようすを見て回りました。



一輪車乗りを披露する鳳凰國小の子どもたち



楽しく、ハイポーズ



ホームステイ先の劉乃鳳さん(後列左)宅前で

サッカーで交流

少年サッカー教室の児童

異国の文化にふれ 国際感覚を学ぶ

試合のあと、本村協議会が準備したユニホームが鳳凰國小のサッカー部にプレゼントされました。子どもたちは、次の対戦を約束し、固い握手をしてサッカー交流は終了しました。

交流試合の前に、児童たちは廣興國民小学校の校内を見

学しました。一般教室をはじめ、コンピュータ実習室では、実際にコンピュータを立ち上げてみるなどして体験学習を行いました。

夕方から鹿谷郷主催のレセプションが行われ、普段、口にしたことのない本場の中華料理を食べながら、お互いに和やかな雰囲気の中で楽しいひとときを過ごしました。鹿谷郷での宿泊は、6つの班に分かれてホームステイが行われました。鹿谷郷の家庭

のようすを寝食をともにしながら体験した団員は、異国の文化にふれあうことで、国際感覚を肌で感じる貴重な研修となりました。



廣興國小のコンピュータ実習室で体験学習



鳳凰國民小学校の校庭で交流試合をする子どもたち(右のコニホームが玉川村チーム)

国際友好都市

中華民国「鹿谷郷」を訪問

平成11年度の村日華親善友好都市提携推進協議会の鹿谷郷訪問事業は、8月19日から22日までの3泊4日の日程で行われました。

今回の訪問事業は、村教育委員会の江本城幸先生が指導する「少年サッカー教室」の児童14名(5、6年生)によるスポーツ交流と村商工会関係者による産業交流を中心に実施されました。

村日華親善友好都市提携推進協議会長の車田村長を団長に一行23名は、福島空港から福岡空港を経由して中華民国の台北に入りました。



車田村長から陳郷長(中央)に念仏踊り人形が贈られる



研修中の車田さん(右端)

商工業研修 村商工会からも参加

村商工会青年部長の車田幸司さんと経営指導員の穂積俊一さんの2名は、鹿谷郷の農会の皆さんと鹿谷郷の商工業の状況と「ウーロン茶」の輸入について、研修を行いました。車田さん、穂積さんは、「鹿谷の皆さんの情熱は、学ぶところが沢山ありました」と話していました。

(鹿谷郷友好訪問団員名簿)
車田次夫村長、矢部玄信村議、車田幸司(商工会)、穂積俊一(商工会)、溝井浩一(父兄代表)、江本城幸(教委)、国井太輔、溝井裕史、飯田裕晃、車田康文、車田毅文、三輪裕一郎、斎藤久矢、小林輝彦、仁井田敏英、鈴木慎也、吉田透、車田孝太、小林稔正(以上玉一小)、鹿又悟(川辺小)、野口庄嗣、矢部玄幸、塩澤賢一(以上事務局) (敬称略)

中学生国内研修報告(下)

心に残る思い出

北海道研修をしるす



平成11年度のふるさと創生事業中学生国内研修は、7月27日から29日までの2泊3日の日程で行われました。コースなどの概要については、先月号で紹介しましたが今月は、その続報として参加した生徒の研修レポートを紹介いたします。

福島空港から飛び立ち、再び福島空港に帰って来るまでの研修のようすを6名の生徒の皆さんのレポートを通して振り返りましょう。

飛行機の搭乗体験、札幌市内のこと、各種体験など、子供たちの視点でとらえた感動が有りのままに綴られています。

空に登って

泉 中 曲山 絵美さん

私は、今回の北海道旅行で初めて飛行機に乗りました。飛行機が動く瞬間、「もし、墜落したらどうしよう。」と考えていました。やがて飛行機は、徐々にスピードを上げていきました。押しつけられるこの空気と今にも浮かびそうなこの感覚は、気持ちが悪いです。だんだん高く、高く舞い上がる自分。窓から見た景色はとてもきれいで、美しいものでした。



機内でラジオを聴く曲山さん

家が、車が、村がどんどん小さくなって離れていきました。それにつれ、雲が近くになって、空が近くなるような感じになりました。

千歳空港は、とても大きくてびっくりしました。福島空港も自然を大切にしながら更に発展していったってほしいと思いました。

地にふれたことは、私の大切な思い出になるでしょう。本当に貴重な体験ありがとうございました。

札幌市内を見学して

須釜中 鈴木 由喜枝さん

今回の研修旅行で私は、初めて北海道に行きました。その中で一日目の札幌市内のフリータイムはとても楽しめました。そして、実際に札幌市内を見学してみたの第一印象は、とても広くてとてもきれいな街だと思いました。

テレビ塔の展望台があがってみると、とても高く遠くまでよく見えました。その中



札幌市内を研修中の鈴木さん

で目立ったのは大通公園でした。一・二キロメートルとても長く私の想像していたよりも大きかったのでびっくりしました。また、公園の中には噴水や花などがたくさんあって、とてもきれいでした。

その時は、いろいろな所を歩き回ったので疲れたけど、札幌の街の様子などが分かって良かったと思います。

みんなで過ごした三日間はとても短く感じました。けどその短い時間の間でも貴重な体験ができて、たくさんのことを学び、たくさん思い出ができました。これからは、この体験を忘れずに生活していきたいと思っています。

雄大な北海道で学んだこと

泉中 小針 香織さん

私は、今回、北海道研修旅行に行き、特に心に残ったのは、ルスツリゾート体験村の体験学習です。ジャム作り、クラフト作り、燻製作りという3つのプログラムの中から私は「森のクラフト作り」を選びました。一枚の板の上に、木の枝や花、松ぼっくりなどの自然の材料を好きな型にして張り付けて行くその作業は、とても楽しく、熱中して「次はどれを張ろう。」とワクワクしていました。終わりの時間になると、「完成した。」という充実感と、もっと



ルスツリゾート体験村での体験学習



ジャム作りを体験中

やりたかったという気持ちになりました。

この北海道研修旅行ではたくさんを感じました。その自然の雄大さやスケールの大きさに触れ感じ、仲間達との友情を深め、充実した三日間でした。



森のクラフト作りに挑戦した小針さん

地引き網体験をして

泉中 小原 利夫君

僕は、今回の北海道研修旅行に行き、心に残ったのは、二日目の地引き網体験でした。地引き網は、テレビなどでは見たことがあったけど、実際に見たことがなかったものでとても楽しかったです。

海に着くと漁師さんたちが海に網をしかけていました。魚の取り方は、海に網があつて、その両わきのロープを泉中と須釜中の生徒で引っ張り魚を取るといって掛けました。網を引っ張っていると、いろいろな魚と初めて見たフグの稚魚などがいて、とてもびっくりしました。



地引き網体験をした小原君

それから、その日とれた魚は次の日の朝食にフライにしてお出され、とてもおいしくできていました。

そして、この地引き網体験は初めてでしたので、とても貴重な体験ができてよかったと思いました。

日本航空専門学校で感動

泉中 二瓶 真光君

僕が北海道研修旅行で一番楽しかったのは、三日目です。それは、なぜかというと、景色の良い高台や幸運の鐘、水平線の見える地球岬やアイヌの生活の様子、踊りや歌が体験できるアイヌ民族博物館のある白老ポロトコタン、日本航空専門学校を見学できたからです。

日本航空専門学校で最初に僕達が見学したのは、コンピ



パイロットの気分?の二瓶君

ユータでフライトの練習をする部屋でした。ここでは、みんながフライトゲームを楽しそうにやっていました。その後、僕たちは車や飛行機の解体してあるものを見学しました。そして、実際、航空学校の生徒が乗っているという飛行機を見たり、中に入って写真を撮ったりして楽しかったです。

最後に日本航空専門学校の校長先生が、いろんな話をしてくださって、大きな飛行機も小さなネジから造られ、多くの人が、安全を心掛けていることが分かりました。

僕は、この旅行で新しい世界を発見し、いろいろな体験をしました。今後、この体験を生活に生かしていきたいと思っています。

猛暑の`夏の思い出、

夏まつりを楽しむ

唄、踊り、出店そして夜空に花火

玉川の夏、'99

『夏』恒例の玉川夏まつりは、8月13日正午から村役場南駐車場をメイン会場に行われました。

今年の夏は、連日の猛暑でしたが、まつりの当日は、朝から厚い雲におおわれ、時折、小雨がぱらつく天気となりました。

しかし、会場には、出店が並び、特設ステージでは、唄や踊り、ウルトラクイズなどのゲームが行われ、子供からお年寄りまで多くの皆さんで賑わいました。



夜空に光り輝く大輪



玉川夏祭り

特設ステージでは、民謡が披露されました



夜になっても出店には、人でいっぱい



阿武隈川でのカヌー進水式

子供からお年寄りまで大賑わい

阿武隈川では、村商工会青年部主催のカヌー教室で造られたカヌーの進水式が行われました。いずれのカヌーも順調な航走が披露され、参加者は、川面を気持ち良さそうにオールを漕いでいました。

また、夜は第14回玉川花火大会が阿武隈川畔で行われ、スターマインや尺玉などの打ち上げ花火に大勢の観客で賑わい、ゆく夏を惜しんでいました。

飛行機に乗って

須釜中 宗形裕二君



千歳空港ターミナル内での宗形君

僕は、今回の北海道研修旅行で初めて飛行機に乗りました。前の日から飛行機に乗るのは楽しみにしていました。

北海道行きの飛行機では、離陸の時にすごく緊張しました。でも帰りの飛行機の際は、離陸が、楽しみになりました。

そして、3日間の楽しい研修旅行が終わり、千歳空港に着きました。ここは、思ったより広く、おみやげ品もいっぱいあり、すごいと思いました。そして、いよいよ帰る時がきました。飛行場が飛び上がり、



解団式で団長の小林教育長に代表でお礼のことはおこなった奥野麻詩君(京中)

どんどん北海道が小さくなっていきました。雲を見下ろした風景はともきれいでした。でも、途中で黒い雲が出てきました。一回ぐらい雷がなりました。少し不安になったけれど大丈夫でした。そして、玉川に着いて「帰って来たんだ」という実感がわいてきました。

この北海道研修旅行で学んだことは、これからの先の人生にどんどん生かされると思っています。

全国玉川町村交流ソフトボールスポ少が

埼玉県玉川村を訪問

本村と埼玉県玉川村は、同名が縁で愛媛県玉川町とともに交流を深めています。

今回は、野球スポーツ少年団との交流を行いました。

交流会と懇親会で友情を深める

8月28日、29日の1泊2日の日程で、本村ソフトボールスポーツ少年団の部員及び保護者54名が、埼玉県玉川村を訪問し、スポーツ交流を行いました。

交流会は、村総合運動場で行われ、開会式では、埼玉県玉川村の杉田哲夫スポーツ少年団本部長と本村ソフトボールスポーツ少年団の佐藤豊勝会長からそれぞれあいさつがあった。埼玉県玉川村関口定男村長からお祝いのことばが述べられました。また、選手を代表して、埼玉県玉川村の蓮

見健太君と本村の斎藤久矢君がそれぞれあいさつをしました。

埼玉県玉川村には、野球、剣道、バレーボールの3つのスポーツ少年団がありますが

交流会は、それぞれ2チームずつ編成をして、2コートに分かれての対戦となりました。親睦を目的とした試合のため、終始、和やかな雰囲気で行われました。

試合終了後、村中央公民館に場所を移して夕食をしながらの懇親会では、村名が同じ「玉川村」という親近感からか、児童たちもすぐに打ち解けた雰囲気の中で友好を深めました。

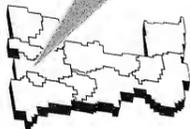
一行は、村の近くにある「木のむらキャンプ場」でキャンプを楽しんで、翌日、帰途につきました。



▲村総合グラウンドで行われた交流試合



夕食をしながらの懇親会



トピックス
IN
たまかわ
—みなさんからの話題を
おまちしています—
役場総務課広報広聴係まで



熱戦を繰りひろげる少年剣士たち

県早起き野球大会
東北アンリツのエース
水野信哉さん(中)
MVP獲得



MVPを獲得した水野さん

第41回県早起き野球大会で優勝した東北アンリツ(郡山市)の投手水野信哉さん(28歳・中)が見事、最優秀選手賞(MVP)に輝きました。

水野さんは、決勝の福島三菱ふそう自動車との対戦で被安打6、失点1に抑え、3対1で完投勝利を収め、チームを5年ぶり3度目の優勝に導く活躍でした。

また、今大会、決勝を含め3勝する力投をみせ、東北アンリツの頼れるエースとして、期待にこたえました。

2安打2盗塁の大活躍
甲子園出場を報告

学法石川高の真野目君



3回表2盗に成功し、ガッツポーズの真野目君(右)

第81回全国高等学校野球選手権大会に福島県代表として出場しました学法石川高校野球部の真野目雄治君と父親の正昭さんが、役場を訪れて車田村長に同大会出場を報告しました。

1回戦不戦勝で2回戦の岡山理科大付属高校との対戦が8月14日の第一試合で行われました。真野目君は、1番サードで先発出場し、学法石川のリードオフマンとして、実力を遺憾なく発揮しました。

真野目君は、1点リードされた3回表に内野安打で3塁ランナーをホームに入れるとすかさず2盗。更にライト前ヒットで駿足を跳ばし本塁に滑り込んで逆



車田村長と握手をする真野目君(中央)、左は父親の正昭さん

転の2点目を挙げる活躍をしました。その後、行き詰まる熱戦となりましたが、残念ながら4対5でサヨナラ負けとなりました。

「甲子園はテレビで見るよりは狭く感じました。一つひとつのプレーごとにざわつく雰囲気には驚きました」と甲子園の印象を話すと、車田村長から高校野球で培ったことをこれからの人生に活かして行くよう激励されました。

第28回玉川村少年剣道大会
県内から一四〇名が参加



第28回玉川村少年剣道大会は、村青少年育成村民会議、玉川剣友会などの主催で玉川勤労者体育センターで開かれました。

県内から小中学生約140名の団体が参加して、小学生の部の団体及び個人戦と中学生男女それぞれの団体及び個人戦が行われました。

会場には、4コートが設置され、各コートでの戦いに保護者

からの声援が送られ、熱気あふれる大会となりました。

大会の結果、個人戦中学生女子の部で林奈穂子さん(須釜小2年)が見事優勝を飾りました。なお、村関係の入賞は、次のとおりでした。

(中学生女子の部)
●個人優勝 林奈穂子(須釜中)
(中学生男子の部)
●個人2位 石森淳司(須釜中)
●団体3位 泉中学校

歌集「源氏蛭」を出版



歌集「源氏蛭」を手にするはんさん

蒜生の真弓はんさん(79歳)は、このたび、歌集「源氏蛭」を自費出版しました。

真弓さんは、本紙でもお馴染みの花愁短歌会に所属しており、これまでに読んだ歌約230首を収録して出版しました。

真弓さんは、短歌を初めて約4年。その間、生活をうたった歌を約800首読みましたが、冊子として残したいの思いから、今回の出版となりました。



大竹さん(円内)と三つ子のナス

これは珍しい
三つ子のナス
岩法寺の大竹さん



「キュウリの3つ子も珍しいけど、ナスの3つ子をもっと珍しいですよ」と岩法寺の大竹吉さんと。大竹さんの畑に珍しい3つ子のナスが出現。だんご3兄弟ならぬナス3兄弟に地区の人達もビックリしていました。

第一回浅川剣道大会
須釜少年
剣友会が優勝



浅川町の武道館オープンを記念して7月20日に浅川町武道館で第一回浅川剣道大会が行われ、須釜剣友会が小学生団体の部で見事優勝を飾りました。また、個人の部で野口治君(須釜小6年)が3位入賞を果たしました。

須釜小の田子育良校長先生の引率で野口友香さん(須釜小6年)ら関係者が村教育委員会を訪れ、小林教育長に優勝を報告



優勝報告をした野口友香さん(右)と野口治君(中央)

するとともに、これらの各種大会での健闘を誓っていました。

自然と親しみ
吾妻湿原
を行く



第33回村民登山会は、村民89名が参加して、東吾妻山方面の自然を満喫しました。

今回は、東吾妻山の山頂には登らず、吾妻湿原地帯の木道を歩きながら高山植物などの草花に親しみ、また、吾妻小富士を見下ろす雄大な景色などを楽しみました。参加者相互の親睦を深め、思い出づかい登山会となりました。



吾妻小富士を見下ろしながら歩む参加者

南須釜の
念仏おどり



郡山ビッグパレットで上演

郡中18市町村の歴史、伝統文化、産業などの地域の特性を活かし、住民の知恵と情熱を結集して地域づくりを進めることを目指した「けんちゅう未来フェスタ99」が、郡山市安積町のビッグパレットふくしまで開かれました。

玉川からは、「けんちゅう未来ステージ」のコナーに村を代表する伝統芸能「南須釜の念仏踊り」が出演しました。色艶やかな衣裳に身を包んだ子どもたちの踊りは、多くの観衆を魅了しました。



けんちゅう未来ステージで南須釜の念仏踊りを披露

9月10月の健康ごよみ

- 9月
 - 28日(火) 機能訓練 保 受
 - 午前10時～
- 10月
 - 1日(月) すくすくクラブ 保 受
 - 午前10時～
 - 5日(火) 母親教室 保 受
 - 午後6時15分
 - 8日(金) 1歳6カ月児健診 須 受
 - 午後1時
 - 3、4カ月児健診 保 受
 - 午後1時30分～
 - 22日(金) 股関節脱臼検診 石保 受
 - 午後1時30分～2時

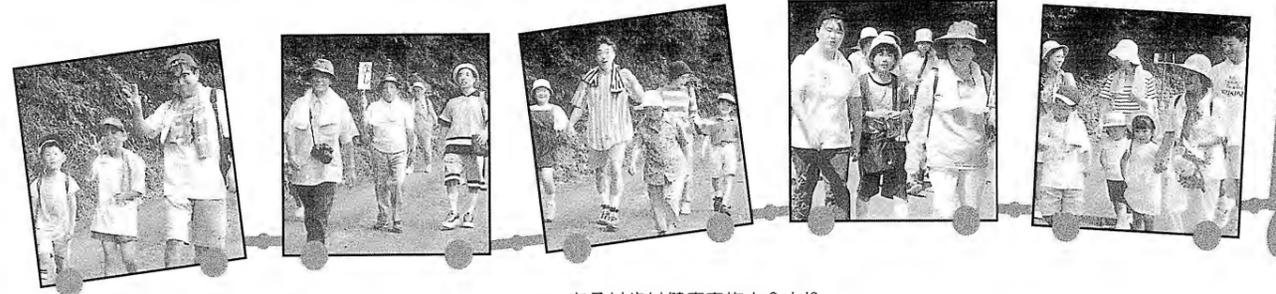
保:保健センター 須:須釜公民館
石保:石川町保健センター 受:受付時間

伝言板

保険証の更新です

現在、皆さんが持っている保険証(国民健康保険被保険者証及び退職被保険者証)の有効期限が平成10年9月30日までとなっています。次の日時・場所で更新を行いますので、保険証と印鑑を持参のうえ更新してください。

月日	地区名	時間	場所
29日(水)	蘇生高小	午前9時～12時	玉川村保健センター
	竜崎	午後1時30分～2時30分	竜崎集会所
	岩法寺	午後3時～4時	岩法寺地区農耕センター
	川辺	午後4時30分～5時30分	川辺公民館
30日(木)	南須釜	午前9時～午前12時	須釜公民館
	四河	午後1時30分～2時30分	四辻農業研修所
	大井	午後3時～4時	山小屋公民館
	井沢		
	山小屋		
千五	午後4時30分～5時30分	吉集会所	
小半	吉		



～あるけ歩け健康家族大会より～

困りごと 相談会 悩みごと

調停の相談

いろいろのもめごとはまず調停へ

土地、建物、金銭の貸し借り、交通事故の損害賠償などの問題や、離婚、離縁、親子関係、扶養、相続とかの家庭内の問題で、お困りのことはございませんか。こういう日常生活上のいろいろの争いごとを円満に解決するために裁判所の調停という制度があります。調停を申し立てるにはどうしたらよいか、調停はどのように行われるか、などについて調停委員がご相談に応じますから遠慮なく次の相談会にお越しください。

◆とき 平成11年10月20日(水) 午前9時～午後4時

◆ところ 石川町中央公民館

司法書士無料相談

10月1日は「法の日」 無料登記等相談会 お気軽にご相談ください

福島県司法書士会では、登記や供託の手続き、訴訟書類の作成などについての無料登記等相談会を行います。

◆相談内容

- 不動産の相続・売買・保存などの登記
- 会社の設立・役員変更・増資などの登記
- 借地借家法に基づく手続き・供託の手続き
- 家事審判手続き・訴訟書類の作成など

※相談は、個別に行い、相談内容はすべて秘密にいたします。

◆相談員 福島県司法書士会会員

◆相談場所及び日時

- 郡山市(うすい百貨店7階) 10月7日(木)10時～15時
- 白河市(白河地域職業訓練センター) 10月4日(月)10時～15時

行政相談

悩みや苦情は、まず相談 ～秋の行政相談週間～ (無料・秘密厳守)

10月17日(日)～23日(土)の1週間は、「行政相談週間」です。行政相談は、役所や公団、公庫、NTT、JRなどの仕事に関して困っていることや要望したいことについて相談に応じ、その解決のお手伝いをするものです。行政相談委員は、いつも自宅等で相談に応じています。なお、この期間中は、次のところでも行政相談所を開催します。

(玉川村担当の相談委員) 真野目喜正さん
南須釜字行人塚21
☎(57)3001

(行政相談所の開催)

◆月日 10月20日(水)

◆時間及び場所 9時～12時 役場北庁舎
13時30分～16時 須釜公民館



寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 南須釜の大野ミチ子さん
- 川辺の白旗幹雄さん

(村社会福祉協議会)



村のようす

- 11年9月1日現在
- 1,790戸(+4)
- 7,590人(+6)
- 3,742人(+1)
- 3,848人(+5)

お誕生おめでとうございます

地区	出生児氏名	保護者名
岩法寺	坂本 望	清美
竜崎	味戸 瞳	吏
〃	小林 花南	菊雄
吉	有賀 さゆり	一夫

おくやみ申し上げます

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
川辺	白旗 トシ	92	幹雄
竜崎	佐藤 亮平	10	邦男
南須釜	大野 長三郎	58	ミチ子

今月の納税

【納期限は9月27日(水)です。忘れずに納めましょう】

国民健康保険税 第3期
国民年金保険料 9月分

花愁短歌会玉川支部詠草集

豪雨に追われ陸に彷徨う白鷺の群は寄り合う橋のたもとに
老梅の花は咲けども実は疎ら重ねておもうわが老の身も
情熱も色香もなきという心時にゆらめく残り火みせて
待たねども息子来たりて田植えの苗畦に運べり小雨の中を
友と話す時が何より羨なり帰れるころは心も晴れて
無縁仏この日ばかりは華やかに彼岸の花に囲まれている

村公民館

小針 登里
吉田 沙代
真弓 はん
溝井はなよ
曲山きくみ
川崎美智子

「使い忘れ」

してませんか?

もう一度確認を

地域振興券は9月30日まで

玉川村の地域振興券の使用期限は、9月30日(木)までとなっております。使用期間内に使用しないことのないよう、もう一度確認してください。また、交付対象者でありながら、まだ地域振興券を受け取っていない方はいませんか?

使用期限までは、振興券を受領し、使用することができませんので、受領されていない方は役場企画財政課で早急に受領の手続きをしてください。

★さるなしドリンク

190g缶 100円

こぶしの里センター TEL 0247-57-3800

玉川村特産 さるなし商品

平成11年産 12月発売!

720ml 1,800円(税別)

★さるなしワイン

シリーズ

今日の食卓⑰

今月のお題は
「青背の魚を見直しましょう」



最近、村の健診でも総コレステロール、中性脂肪の高い人が増えています。総コレステロール、中性脂肪を下げるとともにHDLコレステロール(善玉コレステロール)を上げることが大切です。

そこで今日は、善玉コレステロール(HDLコレステロール)を増やし、生活習慣病予防に役立つ青背の魚(サンマ、サバ、イワシ、アジ等)の献立を紹介します。青背の魚は、臭みが気になりますが薬味(ニンニク、生姜、ねぎ等)をたっぷり使って美味しくいただきます。

『サンマの中国風煮』

1人分エネルギー量156Kcal

— 材料(4人分) —

— 作り方 —

- サンマ 中2尾
- ごま油 大さじ1/2

①サンマは1尾を4つに切り、はらわたを取り、洗って水気をとる。

- A
- 豆板醤(トウバンジャン)
 - ニンニク 1かけ
 - 生姜 1かけ

②フライパンにごま油を熱し、サンマを入れて両面を焼き、Aを入れ、味をからませ、香りが出たら、Bを加え、汁気がなくなるまで煮る。

- B
- 水 1/2カップ(100cc)
 - 酢、酒、しょうゆ 各大さじ1
 - 砂糖 小さじ1
 - カキ油 小さじ1
 - 小松菜 200g

③小松菜は、4cmの長さに切り、塩、サラダ油を少量入れた沸騰油でさっとゆで、ザルに上げ、さっと水をかけて水気をよく切る。

ワンポイント

～サンマを網で焼いて、油を落としてから調理するとよりヘルシーです。

④あつあつの小松菜を鉢にもり、②を煮汁もからめて盛りつける。



(後方は妙義山)



私のふるさと —群馬県妙義町—

溝井典子さん(小高)

『ふるさと』今でも群馬の子供達は、まず上毛かるたで郷土を覚えます。

『④みじに映える妙義山』赤城・榛名と共に上毛三山と親しまれ、奇岩で有名な国定公園妙義山。その麓の小さな町が、私が生まれ18歳まで過ごしたふる里「妙義町」です。高崎から信越方面へ二十数キロ。製糸工場のレンガ建築が残る富岡市、ネギと蒟蒻の下仁田町。碓氷峠を超えれば軽井沢という松井田町等に隣

接した自然豊かな山里です。四季折々の山のスケッチと春秋の登山が学校行事だった幼い頃の記憶が蘇ります。県内外の妙義山を愛する人々が描く絵画展は、すでに17回を数え、入選作品を常設展示する為に、町立ふるさと美術館も建てられました。

『国重要文化財の妙義神社。4つの石門をくぐり大砲岩から望む関東平野の広がり。昔のままのふる里の人々の熱き心が重なります。ふる里を離れて30年。今は子供達の誇れる「ふるさと玉川」を守る立場になった事を改めて実感しています。



東京玉川会コーナー

心に残る 我がふるさと 『ふるさとは心の宝』



神奈川県相模原市

高宮

宏さん

(小高出身・関根春一さんの従兄弟)

小田原城をバックに妻と

初秋の候 玉川村、東京玉川会の皆様お元気ですか。私は、小高小学校を昭和18年に級友80名とともに卒業いたしました。

沖の田畑の真ん中を縦断道路に、そして山には空港が出来るとは夢にも思っていませんでした。

故郷を離れて早や50年になります。幼児・少年時代は、小高東にて育ちました。夏には、前の川(旧玉川、現泉郷川)の寺前より大堰までが遊び場でした。寺の前の堰までの水泳ぎ、高い所より飛び込む友人の姿が目に見え、魚道を作って月の明かりや松明を焚いて魚を取ったものでした。

私も古希の年ともなると少年時代が懐かし、盆の季節には、戦後の昭和30年頃に小高の盆踊り櫓の上での笛や太鼓の音をテープに吹き込んであるのを聴くのを楽しんでおります。なお、遊んだ川の名が玉川村の村名になったことは、私の心の宝のひとつ加わった喜びです。今回の東京玉川会総会で、皆様にお会いできることを楽しみにしております。玉川村、そして東京玉川会の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。